

地元酒造メーカーと連携した酒米の生産振興に取り組んでいます

石川農林総合事務所



田植後の水管理を現地指導する普及指導員



中干し管理の現地研修会をJAと連携し開催



「山島の郷酒米振興会」会員の皆さん



「新酒を祝う会」で26年産酒米を評価する杜氏の山本さん

当事務所管内では、日本酒の原料となる専用品種「五百万石」「石川門」「北陸12号」のいわゆる酒米があわせて約200ha栽培されています。近年は和食ブームを背景に日本酒の人气が高まり、酒米の供給が不足傾向となってきたことから、地元酒造メーカー、米生産農家、JA等が連携し、酒米の生産振興に取り組んでいます。

管内の酒米産地である白山市山島地区では平成26年3月に、地区内の44名の酒米生産者により「山島の郷酒米振興会」が設立され、地元の(株)吉田酒造店と連携した64haの酒米栽培を開始しました。実需者である酒造メーカーが求める大粒の酒米を生産するため、当事務所の普及指導員が育苗ハウスの管理や田植え後の水管理の巡回指導、中干しの開始時期や穂肥の施用方法の現地研修会の開催などを支援しています。

今後は、さらなる高品質米の生産振興を目指して、堆肥やケイ酸資材の施用による土づくり、栽植密度の見直しなど栽培指導面で支援するとともに、「山島の郷酒米振興会」を核とした、酒造メーカーとの連携によるこれらの取組を普及拡大することとしています。

問い合わせ先：農業振興部（076-276-0371）